

《その3》 お金は木の葉

ずっとはずれのほうに、ちらりほらりと家あって、その人たちが、八幡<sup>やわた</sup>へ魚買いに来るんだと。

いろいろ買っていくんだね。四日分も五日分も買っていくんだね。

その荷物背負<sup>しょ</sup>って、鏡が池のどこまで来ると、とつてもきれいな女の人、芸者さんみたいなきれいな人がね、寄ってきて、

「その荷物のなかのものを、売ってくれ」  
って言うんだと。

そして、お金、ぴらぴらさせて見せるから、その男、女の人に売ったんだと、買ってきたものみんなね。

そして、もらったお金で酒飲んで、いい気持で帰ってきたんだと。

「金、いっぱい持ってきたからな」  
って、懐から、金、出したっけえ、なんでもね、木の葉っぱだったんだとや。

その人は、懲りないで、その後も、しょっちゅう化かされていたんだよ。

